

第3回

まちづくり市民懇話会

活動報告書

令和元年11月17日(日)、第3回目のまちづくり市民懇話会が開催されました。

今回のテーマは「『岸和田らしさ』ってどんなところ?」です。いいところも、悪いところも“らしさ”。一見ネガティブなイメージの“らしさ”も、見方や考え方を変えれば、ポジティブな“らしさ”になり得ます。

物事を多面的、多角的に捉え、たくさんの“岸和田らしさ”を出し合いました。

「岸和田らしさ」って どんなところ?

山があって海があって自然が豊か

岸和田民族 元気のいいおばちゃんが多い! 動と静がある

城下町という誇りがある 保守的 離れたがらない人が多い

身内意識が強い Welcomeな感じ みんなようしゃべる

おせっかいさんが多い 血が熱い! おいしいものが多い

柄が悪い? 自由 人情に厚い 祭都 鈍感

etc...

「岸和田らしさ」を考えるにあたって、意外と難しい、いまいちピンと来ない、住み続けていると気づきにくいなどの声も上がっていました。当たり前すぎてわからないことってよくありますよね。そういったことを改めて考え直す機会となりました。



ワールド・カフェのすごいところ



ひとりで考えているだけだと、どうしても単眼的思考に陥りがちですが、“他花受粉”することによって、さまざまな気づきを得ることができ、複眼的に考えることが自然とできるようになっちゃうんです!

みなさんの心に強く残った「岸和田らしさ」はなんですか？

※気づきシートの「いちばん強く心(印象)に残った『岸和田らしさ』を一言で書いてください。」より抜粋。

歴史の町

かつての映画のまち・岸和田

城下町である
というほこり

豊かな自然が多くのごっつり、
おいしい農作物や季節ごとの
花が咲くところもある

素直で曲に衣着せない

地元民は強い

人を受け入れる心構

とにかくおばちゃんは
元気!!

岸和田人は単純で
人が良い人が多い

人が温かい

「岸和田民族」
のような一体感

時代の流れの中で
「まつり」を中心とした
ジャンルから変化が
おこっている

まちづくり市民懇話会

